

安心して下さい！ 防災やっていますよ！

前回に引き続き「台風への対策と備え」の方法について、皆さんと一緒に考えていきましょう。被害を最小限に抑える為にも、事前の準備・対策はしっかりとしておくことが大切です。

◆台風の事前対策◆

【ベランダ排水口の確認】

排水口にゴミが詰まっていると水が溢れ、階下が漏水する原因になります。



【物干し竿は固定】

物干し竿は室内に入れるか、竿掛けに紐や屋外用結束バンドで固定しましょう。



【ベランダのものが飛ぶ危険】

ベランダにある飛散しそうな物は、部屋の中に入れてください！ごみ箱等の室内に入れにくいものは、ロープで手すりに頑丈に結んで固定しておきましょう。フタも飛散しないようにテープや紐でしっかり止めましょう。鉢植えもすべて室内に入れてください。

【窓は閉める】

窓を開けた状態で、玄関扉を開閉すると勢いよく開き危険です。強風時は必ず締め、カーテン等もおろしましょう。最大瞬間風速が強烈な場合は、窓ガラスに室内側から段ボールやテープで補強することも重要です。布テープや養生テープは跡が残りにくいです。また、日頃からガラス飛散シートなどを貼り付けておくことで安心です。飛来物でガラスが割れても、部屋中にガラスが散らばる危険が少ないのです。



【サッシの隙間に注意】

台風により室内との気圧差で雨水が吹き込むことがあります。サッシの下の溝に室内側から布やタオルなどをつめておきましょう。水分を多く含んだ場合、時々絞るか交換しましょう。

【スマホや携帯電話は充電】

スマホや携帯電話は懐中電灯代わりに使えます。落雷や強風で断線し固定電話が通話できなくなっても使用可能です。



【エアコンの準備】

エアコンの使用・不使用に関わらず気圧の関係で、エアコンのドレンから水が逆流し、エアコンの室内機から水が吹き出すことがあります。上のイラストのように台風の前にビニール袋を輪ゴムでとめ、ビニール袋に排水できるように切り込みをいれておきましょう。

◆台風が来るまでに事前に準備しておくもの◆

【懐中電灯と乾電池】点灯するか電池を確認しておきましょう。ラジオ付の懐中電灯もあり便利です。

【ラジオ】電池式を一台は用意しておきましょう。手動充電機能付やスマホ・携帯充電器付などもあり、停電の時にも便利です。

【水】飲料用としては、ひとり一日2〜3リットルもあれば十分です。日頃から備蓄しておきましょう。

【食料】水道、ガス、電気などのライフラインに影響がでた場合は、普段の調理ができない可能性があります。調理しなくても食べられるような食料やお菓子類を日頃から用意しておきましょう。

◆停電時のお困り事◆

【照明】ロウソクは、火災の危険があるので懐中電灯を使いましょう。LED懐中電灯は、明るく電池も長持ちします。また、防水機能ランタン型懐中電灯はトイレやお風呂で使用も可能。夜も安心です。

【水】マンションの給水ポンプは、電力を使い一度屋上に水を押し上げてから各家庭に水を送るので、停電時は水が出ません。事前にお風呂に水を貯めるなどして生活水の確保をし、トイレを流す時に使用しましょう。飲料水は鍋、ヤカン、ペットボトルに水を入れておくと飲料水や料理用として使用できます。

【冷蔵庫】停電すると冷蔵庫が機能しないので、扉の開閉は最低限に抑えましょう。クーラーボックス等に保冷剤やペットボトルに水を入れ凍らせたものを入れ簡易冷蔵庫をつくり、出し入れの多いものを入れて利用しましょう。

【コンロ】カセット式コンロの場合、いつでも使えるようにカセットボンベの確認をしておきましょう。

マンションの室内は台風時でも比較的安全です。不要不急な外出は控えましょう！

外出先で台風遭遇した場合は、傘を差すのは危険「**カッパを使用してください**」。カッパが無い場合、大きなゴミ袋に穴を開け代用しましょう。また、道路には色々なものが落ちていますが、水が濁り確認が困難です。できるだけ底が厚く脱げにくいスニーカーなどで移動しましょう。長靴は中に水が入るので、かえって危険です。

◆普段と違い気付かない危険が多々◆

洪水の場合、マンホールの蓋が外れると、落とし穴のようになっていたり、普段より流れの速い側溝があります。長い棒や傘を差さず杖代わりに使用し、確認しながら歩くと少しでも安全です。**できる限り水の中は歩かないようにしましょう！**特に洪水時は、下水からの汚水も混じり、非常に不衛生です。また、子ども達がよろこんで、水に入らないように注意してあげてください！



台風による「風・雨」は、通常の場合より強い力を持っています。決して侮っては**ダメ**。事前にご近所同士で声を掛けあい、助け合いましょう！